

笑顔大好き

発行者：常井洋治
〒319-0205 笠間市押辺1745
TEL.0299-45-6818
FAX.0299-45-0818

これからがんばります!

号

燃える郷土愛。全力投球!!

「信頼の絆」、皆さんとと強くと強く!

皆様には日頃から私の議会活動に対し、温かいご声援を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、私が発行している県政報告「笑顔大好き」が100号を迎えることができました。これもひとえに皆様からの絶大なるご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。
 平成11年3月に第1号を発行して以来、今年で24年目になりますが、「燃える郷土愛。全力投球!!」をキャッチフレーズに、様々な活動を掲載してまいりました。皆様から寄せられる励ましの言葉が何よりの支えとなっております。皆様との「信頼の絆」をより強くするためにも、これからも、県政の情報と私の議員活動をしっかりお伝えし、皆様とともに住み良いふるさとづくりを進めてまいります。
 今後とも、より一層のご指南、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



「新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会」委員長として活動しています
常任委員会は「文教警察委員会」に所属しています

TOPIC①

常井洋治が皆さんとともに進める 地元の道路・河川・農地の整備

—毎年開催— 今回で24回目の勉強会です！

私常井洋治が、地元の皆さんから様々な要望を受け、水戸土木事務所、県央農林事務所土地改良部門の幹部との勉強会を開催し、着実に整備を進めています。主だった項目と進捗状況をお知らせします。

水戸土木事務所との勉強会 (R4.6.30)



▲生田目好美水戸土木事務所長(左奥)と関係各課長に、地元事業の円滑な推進を求めた。

[道路関係]

① 国道355号穴戸橋の架替(南小泉～橋爪地内 L=550m W=13.5/6.5m)と大洗友部線(橋爪地内 L=550m W=11～13/6.5m)の整備

○国道355号穴戸橋の架替【令和4年度予算：89百万円】

○大洗友部線の整備 【令和4年度予算：40百万円】

・令和4年度は、物件補償調査及び用地買収に着手する。

② 杉崎友部線(小原地内 L=350m W=9.75/6.0m)の整備

【令和4年度予算：50百万円】

・令和4年度は、物件補償調査及び用地買収に着手する。

③ 平友部停車場線(こころの医療センター西交差点～大沢跨線橋 L=980m W=16/6.5m)の整備

【令和4年度予算：10百万円】

・令和3年度は、市道部交差点付近から大沢跨線橋までの道路改良舗装工事を実施した。現在は、交差点改良工事(市道取付部含む)を実施中。

④ 石岡城里線バイパス(茨城中央工業団地笠間地区～岩間IC方面。長兎路地内 L=2,700m(濁沼川の橋梁新設含む) W=27/13m)の整備

【令和4年度予算：200百万円 令和3年度補正予算：30百万円】

・令和4年度は、物件補償調査及び用地買収に着手する。

⑤ 富谷稲田線(石切山脈側路線)(稲田地内 L=2,500m W=10/6m)の整備

【令和4年度予算：50百万円】

・令和4年度は、物件補償調査及び用地買収を進める。

⑥ 笠間市への移管道の整備：茨城岩間線(パチンコダイナムから泉地内 L=1,672m)

【令和4年度予算：65百万円】

・令和4年度は、舗装補修や側溝修繕などを実施する。

⑦ 笠間つくば線(下市毛地内(笠間駅近くGS前) L=180m W=2.5m)の歩道整備

【令和4年度予算：21百万円】

・令和4年度は、用地買収を進める。

⑧ 平友部停車場線(友部駅前 L=320m)の電線地中化

【令和4年度予算：30百万円 令和3年度補正予算7.5百万円】

・令和4年度は、引き続き、電線共同溝整備工事や舗装修繕工事を実施する。

⑨ 道路の舗装修繕

【令和4年度予算：40百万円 令和3年度補正予算20百万円】

・国道355号(南小泉地内、下郷地内)、茨城岩間線(岩間IC路線、押辺地内)において、路面の傷みが著しい箇所の舗装修繕工事を実施する。

⑩ 真瑞水戸線の整備(スターツ笠間ゴルフ倶楽部付近)

※用地買収済み区間の拡幅を進めるよう要請した。

⑪ 県道大洗友部線(仁古田地区、茨城町境)の整備

・茨城町境橋梁部(一の橋)の架替は、共有地の解決後になる。※笠間市側、茨城町側両方の共有地の調査・買収を至急進めるよう要請した。



▲私は、笠間市仁古田地区と茨城町の境界にある狭く危険な「一の橋」付近の道路拡幅を求めている。

⑫ 吾国山道祖神峠のトンネル化

※笠間市の発展に不可欠な事業であることから、事業化の可能性を模索していくよう要請した。

[公園関係]

⑬ 県笠間芸術の森公園

【令和4年度予算：県単25百万円】

・令和3年度は、北駐車場のトイレを改修した。令和4年度は、未供用部の事業地管理工事のほか、公園施設を点検・調査し、効率的な管理・更新計画を策定する。
・パークPFI(民間活力導入)を引き続き検討する。

[河川関係]

⑭ 濁沼川の改修事業の促進 (中流工区 L=9,300m)

【令和4年度予算：60百万円 令和3年度補正予算：300百万円】

- ・JR常磐線からJR水戸線までの河川改修を進めている。
- ・令和4年度は、亀の甲橋上流区間において河道掘削工事を実施するとともに、宍戸橋付近及びレイクス周辺において用地買収を進める。

⑮ 濁沼川の改修事業の促進 (笠間工区 L=2,400m)

【令和4年度予算：30百万円 令和3年度補正予算：150百万円】

- ・JR水戸線から国道50号までの河川改修を進めている。
- ・令和4年度は、引き続き、上記区間において護岸及び排水樋管工事を実施する。また、昭和橋から佐白大橋までの一部区間において護岸工事を実施する。

⑯ 県単急傾斜地崩壊対策事業費 ※新規事業

【令和4年度予算：15百万円】

- ・仁古田地区において法面対策事業を実施する。
- ・令和4年度は、測量を実施し急傾斜地の指定を行うとともに、調査・設計を実施する。

⑰ 県単河川防災費

【令和4年度予算：149百万円】

稲田川(稲田地区)測量設計、濁沼川(大淵地区)護岸工、間黒川(箱田地区)護岸工、濁沼川(50号付近笠間地区等)伐竹、濁沼川(住吉地区等)伐竹、枝折川(随分附地区)土砂撤去 ※伐採後、竹が繁茂しない措置を求めた。

県央農林事務所土地改良部門との勉強会 (R4.6.30)



▲山藤郁夫土地改良部門長(右手前)と関係各課長に、地元事業の円滑な推進を求めた。

笠間市内における農業農村整備事業の令和4年度新規事業 (R4年6月現在) (単位:千円)

事業名	地区名	事業主体	工期	全体		令和4年度(予定)		令和5年度以降(予定)	
				事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費
経営体育成基盤整備事業	石井来栖稲田	茨城県	R4~R12	区画整理 74.1ha 暗渠排水 69.7ha	2,034,000	地区界測量 測量設計	65,000	区画整理 74.1ha 暗渠排水 69.7ha	1,969,000
農業集落排水事業	市原	笠間市	R4~R6	機能強化一式	319,000	中継ポンプ更新一式	87,000	処理施設更新一式	232,000

TOPIC②

議会改革度 第1位!!

私常井洋治は、議長として、「開かれた県議会」を目指して、思い切った議会改革に取り組んできました。このたび、その取組が評価され、茨城県議会が、早稲田大学マニフェスト研究所が行う議会改革度調査2021において、全都道府県議会で第1位となりました。

議会改革度調査とは

全国の都道府県や市区町村の議会を対象に、①情報共有②住民参画③議会機能強化の取組を調査し、毎年ランキング形式で発表

分野別ランキング(都道府県)

情報共有	住民参画	議会機能強化	総合
7位	1位	4位	1位

議員提案による「ケアラー・ヤングケアラー条例」(略称)の制定に加え、青空対話議会や休日議会の開催、県議会モニター制度の導入、Twitterの開設など、開かれた県議会を目指して改革を進めたことが評価されました。県議会を身近に感じてもらえるよう、今後もたゆまぬ改革を進めていきます。



▲青空対話議会の様子。茨城大学で茨城大学生3名と高校生3名との間で、コロナ禍で抱える問題や県議会への期待などについて意見交換を行いました。(R3.10.30)

※議会改革の内容は、Vol.98で特集しています。バックナンバーも是非ご覧ください。

令和4年県議会第2回定例会を終えて

TOPIC③

輝く新時代に全力!

令和4年第2回定例会は、6月6日～21日までの16日間開かれ、補正予算など21の議案が可決、同意、承認されました。

新型コロナウイルス感染症対策関連予算(令和4年度)

(単位:百万円)

区分	当初予算	R4.4専決処分	R4.6補正	合計
一般会計	175,098	800	9,807	185,705

※単位未満の四捨五入により、合計と各項目の足し上げが一致しない場合がある。

令和4年度6月県一般会計補正予算を可決

◎補正予算 99億69百万円

◎補正後予算※ 1兆2,924億48百万円

※R4.4専決処分800百万円(営業時間短縮要請等関連事業者支援一時金)を含む

主な事業

(1)新型コロナウイルス感染症対策

①感染拡大防止策と医療提供体制の整備等

・介護施設等感染拡大防止事業 1,802百万円

②県内産業等への支援

- ・営業時間短縮要請等関連事業者支援一時金 2,703百万円
- ・いばらきエネルギーシフト促進事業 1,595百万円
- ・中小企業融資資金貸付金【融資枠10,000】 3,334百万円
- ・中小企業信用保証料助成 116百万円
- ・新型コロナウイルス感染症対策利子補給事業 157百万円
- ・いばらきオーガニック生産拡大加速化事業 100百万円

(2)県政の課題等への対応

- ・地域循環型エネルギーシステム構築事業 12百万円
- ・農業技術指導デジタル化推進事業 24百万円
- ・家畜伝染病予防事業 125百万円

文教警察委員会の質疑要約(R4.6.15)

- 免許返納は自主返納を基本とし、高齢運転者の社会生活と交通安全の両立により力を入れるべきだ。
- 友部高校がIT未来高校になるが、シリコンバレーのような地域構想(畜産試験場跡地に)を持つべきだ。
- 農業関係高校の生産物の外部販売は即時再開すべきだ。
- 部活動は、専門職を置いて、学校の中で教育的な観点を持ちながら対応していくべきだ。

【警察本部】

常井委員 高齢者の運転操作誤りによる事故に社会的関心が高まり、免許返納が推進され、高齢者は肩身の狭い思いをしている。しかし、高齢者の事故が特別多いわけではなく、事故の原因も、認知症ではなく薬の副作用が大きいとする専門家の話もある。また、運転をやめると、運転を継続している人と比べて要介護リスクが2倍になってしまうという調査結果もある。県警には、あくまでも冷静に本人の意思による自主返納を基本としながら、高齢運転者の社会生活と交通安全の両立に向けてもっと力を入れて取り組んでもらいたいと思うがどうか。

岡田交通部長 高齢者講習や、サポートカー限定免許(一定要件を満たす自動ブレーキ等の安全運転支援装置を備えた普通自動車)、免許の一部返納など、免許を返納するまでの様々な選択肢を通して高齢者の皆さんを支えていきたい。今後も高齢運転者の不安を解消し、安心して生活してもらえようあらゆる取組を進めていきたい。

【教育庁】

常井委員 私が主張してきた「友部高校を特色ある高校として存続すること」を実現してもらい感謝する。来年、全国初のIT専科高校となる「IT未来高等学校」へと生まれ変わるが、世界的なレベルの企業との連携や、校長を外部から登用する方針があって然るべきだと思うがどうか。

柳橋高校教育課長 世界的な企業や先端技術を持つ企業

との連携は積極的に進めていきたい。現時点でマイクロソフト等と協力関係にある。校長公募については、特色ある学校でも必要かどうかは今後も研究していきたい。

常井委員 地元としては、シリコンバレー(IT企業集積)のような拠点(畜産試験場跡地に)をつくる構想があって然るべきだと思うがどうか。

柳橋高校教育課長 茨城でベンチャー企業を立ち上げる、地域に貢献できるような人材の育成を柱として学校づくりを進めていきたいと考えている。

常井委員 農業関係高校の生産物の外部販売を停止する判断に多くの関係者や県民から反対の声が上がっている。知事が一方的に決めるのではなく、総合教育会議で、知事と教育長がしっかりと協議の上、結論を出すべきだと思うがどうか。

森作教育長 総合教育会議等での調整はあるが、最終的な判断は、県教育委員会の中で検討して施策等を出していくものとなっている。

常井委員 農業関係高校の外部販売は、生徒の経営感覚の醸成や、生産意欲の向上、夢や希望を持って取り組むための非常に重要な機会であり、教育的な観点からも大事である。(委員長に対して)外部販売の即時再開をこの委員会で教育長に提言してはどうか。

※教育長に提言書を手交 → 方針撤回、外部販売再開。

常井委員 これまでの部活動は、正式な業務ではなく、やりたい先生が自発的にやっているという建前だった。そのため超過勤務手当もなかった。部活動の地域移行は既に方向付けが示されているようだが、専門職を置いて、学校の中で教育的な観点を持ちながら対応していくことが良いのではないかと思うがどうか。

秋本学校教育部長 考えは分かるが、日本は明治以来、部活動の指導で生計を成り立たせるという歴史がないため、専門職を置く制度を作るのに国の方でも苦勞しているのが現状である。

常井委員 先生の働き方改革を進めつつも、子供たちが先生を慕って部活を一緒にできる、その喜びは無くさないようにしてもらいたい。

※今回は、R4.7.7現在で作成しております。

HPアドレス ● http://business2.plala.or.jp/tokoiy をぜひご覧ください。フェイスブックもどうぞご覧ください。皆様のご意見をお待ちしています。



← ホームページ



← フェイスブック